庚子
年分
雲中菴評 月並全

雪中菴評月並三題

正月　細井　帰庵　文政十八年　沈宮
二月　柳　永日
三月　高夏　切　苔子
四月　梅子　百合　五月雨
五月　雪ヶ峯　河骨　扇
六月　秋風　ひぐら
七月　い白　蓮
八月　赤蜻蛉　彼岸
九月　仁
十月　冬至　神楽　水
十二月　冬の梅　湖水　蝶
十二月　春興　二句

いさらのはまの大ふつかやの夜の雪　ヒセンシマハラ　明子
うせ雨のふるせり会てより　畠山　神眉
あハ雪やきのふの白のふるしすてる岳　エンヨコスカ　紫友
ちりて山のはをつる白ハ　碧之山

○ちらくし沙弓つるやの夕ハ　落葉子
陰雪やよそ五て廿数の降よる
○ちらくちの祭はりヒセンヤ　ふうらう
○わうけハ　ちらくやうちの夜の雪　ナリセン
○りてや京　赤ハ山の多いとこ　碧山
三日月を見ふ出る門ヤ陽るて

○初の降をのいてめる初ヤ為て　ヒセンカラッ　陳廿山
○雪のあ〻寄て廿ヤ山の物て
雪のあるのして廿を二るヤちるのヤ
せて二のつふ日ちのこるヤ夜の雪
北の二のけふ月ちの夜の雪　武川江一
○ふりるの〻月ちの夜の雪
あハ雪の一ハ廿ヤ二ちふ　三蓑山
ちくちヤ久アの雨ちる　喜〻
ちくれヤかれてアの雨ちる　年映
陰雪やふ行ちこの月ちる
○陰雪やふ〻行ちこの月ちる　半宣
てのくらのうゆき雨ちる　建殺
○ちくちのうのうちの月ちる　蓬金
あハ雪ヤ子之去ちる　玉谷子
○ちくちの子之去ちる　和蓬子
○ちくちの

○あハ雪や いくつ降てもくらの月　オキワ　芳峰
○あハ雪の　五人　枝田よりの月　千秋
○あハ雪や　たきりの中ゝ　ちらり　武蔵　スキタ
○ありアやたきりふぬるのひをゝ　サヽケ　ゆ　訪
○たゝ雪やひかりふぬるふ花の崖　サワテ　書　花
○あハ雪の　山の冥　ちらめ　珠　花
○たゝ雪や　ちらくくとくるゝ　四の　月　古
○何くハぬ　のふて　根をこの　月　結
○あハ雪や　ちれて　会せ　雪　潟　光
○たゝ雪や　ちれて　会せ　雪　潟　光
○たゝ雪や　あのふ　二雪　あい　ふの　涼　ぬ　ゆ　り
○たゝ雪や　くて　ふ　ひ　た　ゆ　り
○たゝ雪や　こ　ふ　ひ　た　ゆ　り
○たゝ雪や　こ　ふ　ひ　た　ゆ　り
○たゝ雪や　こ

雪中庵評月並三夢句合催主

庚子肖月ヶ月負二千六百十余隆

天　佐

地　佐

人　佐

○あ[illegible]の[illegible]

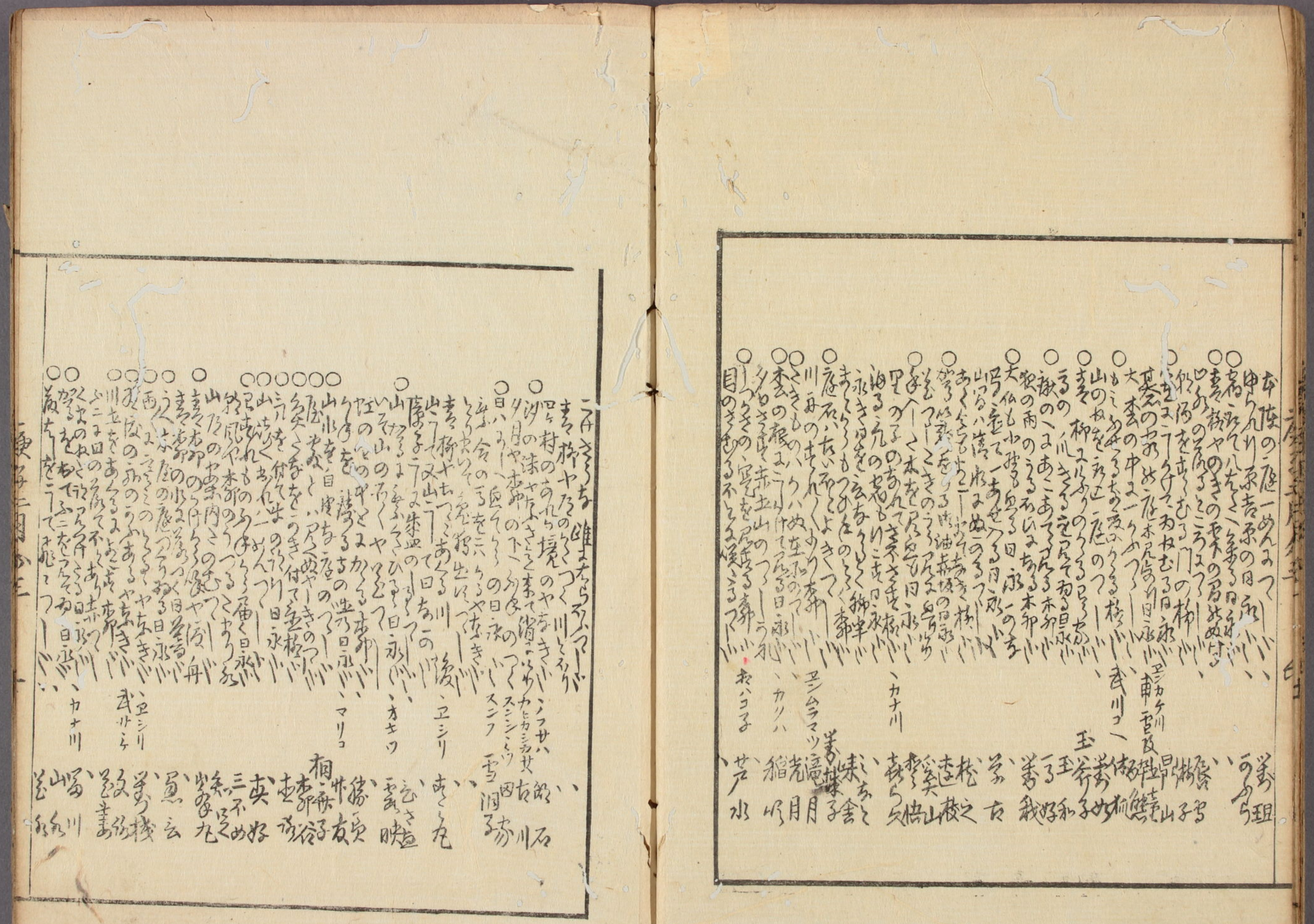
○山口の[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

○

谷の川中ひろさ　柿ハ一ヨンヨスカセハ　仏
○数もれて永い日の　亀
○来る春の下　山
日の山きやす　月
大さの長　月
柿ヤ　月
のやくくこ　月
○くくさうる山の　月
さ不ヤ　月
○芭蕉さうて白　月
○元山ヤ　月
の永山石　月
入日　月
仏の長谷　月
○少の下て　月
四ヤーきの　月
○くき谷ハ小一　月
○引もうて　月
○小豆の　月
○ねさ人を　月
○つ〜　月
○う〜木柿のヤ　月
○きく柿のモハ　月
○かるを考て　月
○ふ日永ハ　月
○ふもとくくやうの　月
○ふ日永ハ　月
○ふもとくくやうの　月
○ふ日永ハ　月
○ふもとくくやうの



○山ちゝ　独云生まれて
○つくづくし　ツクシンボウ
○おれ上の　ヒツジ
○落る日の　ヒツジ
○むーろを　ムロ
○きりみ　キリミ
○ちらき日よ　ヒツジ
○ちらあめ　ヒツジ
○ちらいと　ヒツジ
○ちらくハ　ヒツジ
○ちらあめ　ヒツジ
○ちらつ　ヒツジ
○ちらの木　ヒツジ
○ちらの木　ヒツジ
○ちらの木

雪中菴評月並三題句合

庚子二月廿四日　催主　梁竜　文海　竜子

天　佐

立春　○梅やの山ゆき月のあけぼの　スンフチ子

立春　○春の山ゆき月のあけぼの　エンショウスカ

地　佐

四季不尽　○秋の月　仲嶺

四季不尽　○秋の月　空心

人　佐

四季ハーロ　○秋の月　武川コ

四季ハーロ　○秋の月　對め

巻中　立春部

○春の月　エンショウスカ　茅舎

○春の月　栄山

○春の月　金英

○春の月　柳子

○春の月　揚子

○春の月　イマタキ

○春の月　スンフ

○春の月　オキツ

○春の月　エンシリ

○春の月　春山

○春の月　嶺山

○春の月　野児

○春の月　ムメカヤ

○春の月　苔

○春の月　上サ大メキ

○春の月　奈女

○春の月　衣

○春の月　エンカリハ　繊蓋

○春の月　チノセン　山蓋

○春の月　梅丸　梅川

○春の月　素仙　素仙

○春の月　上サ大メキ

○春の月　ハムメカヤ　苔

○春の月　スンフチ子　柳松

○春の月　エンカナヤ　祥嶺

○春の月　春山　児

○春の月　亡い　菊

○春の月　日永歩

○ 秋 スンフ
○ 霧 セ ナワ
○ 雨 ブ
○ 時雨 ホ ハコヲ
○ 霜 スンカキツ
○ 雪 ユキ
○ 月 ツキ
○ 星 ホシ
○ 天の川 ア ノ カワ
○ 月の出 ツキノデ
○ 月の入 ツキノイリ
○ 月の影 ツキノカケ
○ 月の光 ツキノヒカリ
○ 月の中 ツキノナカ
○ 月の前 ツキノマエ
○ 月の下 ツキノシタ
○ 月の横 ツキノヨコ
○ 月の上 ツキノウヘ

○きりやとしてねぶかい川の名
孫きふるるのうさやうよ　衣おかしら
○いとくねのかさやかぶりあるやかぶりレン正る
せいぶるうるるる

○あけ方の白ふ白田やの[illegible]の花　芭蕉
あハせ　さて[illegible]　一晴
○うりぬさ[illegible]　秋山
○かるきりて[illegible]　李
○きりて[illegible]　李
○きりて[illegible]　李
○さて[illegible]　李
要ふ[illegible]　李
きりやあ[illegible]　李
炭のあの[illegible]　李
ぬ暗[illegible]　李
○陳門へ[illegible]　李
紫うく泊[illegible]　李
○[illegible]　李
○[illegible]　李
山の根[illegible]　李
[illegible]　李

秀逸探荷之部

きりや泥を[illegible]　ヨンナル多キ　李
雨あの[illegible]　李
雪きりや[illegible]　李
雨のよ[illegible]　李
きりや土[illegible]　李
門ちんの[illegible]　李
庭や家の[illegible]　李
あハせ[illegible]　李
イセノハナ　李

梅

[illegible]　芭蕉
[illegible]　李
[illegible]　李
[illegible]　李
[illegible]　李

○[illegible]　芭蕉
○[illegible]　芭蕉
○[illegible]　芭蕉

雪中庵評月並三題句合

庚子四月分自夏二千五百余吟　催主　梁麿　文鼎　海子

天　佐

四神りゝくゝやゝてゝ地ゝけゝくゝるもの　仲歩

タンカニカオリニアリ

地　州

立さゝくゝれやまのたゝ立ふれイタハシ　梅雪

四ゆりゆゝくゝ山ゝくゝ流巴ゝ

タンカオリニアリ

人

四投は雨さゝめ——四ゝくゝ　チリセン　景晋

立ゝ立ゝちゝら水紙ゝのゝくゝ

全

巻中立点之部

○さゝくゝれのよゝれてくせゝくさゝヨンナルタキ里　格

○ひゝて走る紙之立月　香　伊上マリュ　淫水

○泉銀ゝの苔の中やかゝつむり　伯亭　軌

牛のそゝのゝくゝ

今のもゝ一りゝ　ゆゝの香ゝ　ゝくゝれ木

ゝくゝれの涙ふゝ

木ゝ

ゝくゝれやせゝ

ゝくゝれよゝ

○ゝくゝのゝ

○うゝくゝ

○ゝくゝ

○ゝくゝ

○

○さゝなみやうつもり　金英
○さゝなみやうつもり　大きなるやうつもり　金英
○さゝなみやうつもり　今ノメキ

○大の才あてさくらくれかるとあれさくらくつもりやくつもり丙
○山里の埼ふこまこやるやさろき丙
山北ハちふちちりゆりの名
校ヤ伯ふるるるるくつもりるくつもりるるるる

秋月

雪中花

雪中菴詳月並三題句合催主

樂翁子

庚子七月分自二千三百廿四迄

天

佐

○四つ手の花てふ机のきしりもの哥　エンヨコスカ　金英

土河の岩やあらいのあるの下石哥

地

仝

○うつ木の花さいてもなほ花やさの哥　ムラマツ　哥山

五木の花しらぬ月ふくこゑ哥

土河の石の中をあさるゆ哥

人

仝

○四両いのこの上やさの哥　午映

○伊の石やの哥

○白糸の滝

部

○河豚や芋もあるゆの中ニ上スイノ部

○板の根ニ伊勢もあるくのあふぎ哥　里松

あめいのこの哥　シン上マリコめ　笑九

まつ子をへ　イハムラク　みゆ

ゆ　上センカラハ　玄雅

○ふくしの花の光るやさの哥　白点

○ふくりけり孫の光るやさの哥　雲理

川骨や一ふくりはをろの上ニ哥　反素

○つるもの白ふくりはをぬやさの哥

木の山ニつてあるやふの哥　おホクハラ　香月

川骨や風ニ　ヒン正ち　一仕

ヤさのふくりの白ふくり　ホタハラ　三

一ふくりのあるふくりの上のあふぎ　セキモト　晨

○川ふくりを上ふ

○ふくりの花ちらめ衣ヽモリ　秋月

○ふくりヤ中ふくりの花　ヤ

ふくりヤ孫ふくりの新芽樹の花　孝孫ニ

秀逸孫ふ

○ふくりヤ孫ふくりの花　ヤ

ふくりの花ちらめ　ヤ

ふくりの花ちらめ　ヤ

ふくりの花ちらめ

○[illegible]　乙川　益川　芝原　保川
○川の岸　[illegible]　冥加川
峠ら[illegible]　ノナト
まつ風や[illegible]
田へ[illegible]
○[illegible]　オク白川　[illegible]
河の岸や[illegible]
笠の[illegible]
川[illegible]
[illegible]
下サ[illegible]　[illegible]
○[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
下[illegible]　トミ、
○[illegible]　ヨコスカ　[illegible]
河[illegible]
○[illegible]
○[illegible]　[illegible]　[illegible]
○[illegible]　スンフチ　[illegible]　[illegible]
河の岸や[illegible]
人[illegible]　タ中　一坂　羊馬
○[illegible]　エンスキタ二　[illegible]
○[illegible]　スンシミツ　[illegible]　山
○[illegible]
川[illegible]
[illegible]
○[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
○[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

○[illegible]
○[illegible]
○[illegible]

○河骨やいさのこゝろ成るやさきてつくてうるおちる
○衣うけのかゝるやさきてむすびたる
○くさうてまふきたる
○くさきるもれてくちてくちてくちる川のほとり
川のほやはなもつくしてくちてくちてくちる
○ちのうけハちあり
○河骨や岩のつくてくてくて

軸

雲の宮
河ふてきき
紙子哉

空筠屋士

雪中庵詠月会三題句合

庚子八月廿日　催主　梁墨子

天

佐ひらやるを洗ひる川へ雪　蓬舎

立秋風やゆ多田のこるこきのう　太四子

今日ハ立秋風ハ吾ハ門ちよ笠帽ハ

地

立秋風やゆ多田のこるこきのう　太四子

今日ハ立秋風ハ吾ハ門ちよ笠帽ハ

人

立秋風ハ吾ハ門ちよ笠帽ハ　和生

中ヒスイノ部

○蔦ハ日を刈ヒスイの秋の風　ヨミナルタキ里　格

○きのふ刈ヒスイの秋の風　ヒスイ　月丸

○秋風の刈ヒスイ　武川コ一　ヒセンカウフ　像生　雪め

○秋風や刈ヒスイ　雪め

○秋風や刈ヒスイ　蕉

○あき風の刈ヒスイ　雪め

○あき風の刈ヒスイ　雪め

○あき風の刈ヒスイ　雪め

○ひくらしや 桂木の葉のくれ〳〵に川
○ひぐらしの せみ
○秋風や 白萩のちるまで
○あきの風 柏のちるまで
○日ぐらしや 女郎花
○ぬれぬれや 秋の風
○あき風や くれの名ぬ
○あき風や 鳥のこゑ
○秋風を 武川〳〵
○あきらかや 二〳〵
○あきらかや 長月
○ひくらしや 駒ひき
○あき風や 山の
○あきの風 山の
○秋風や ふらてゝ
○秋風や 月
○秋風や 武川〳〵
○秋の風 武川〳〵
○秋の風 武川〳〵
○秋の風

○秋風ヤ千[illegible]

○秋風ヤ[illegible]

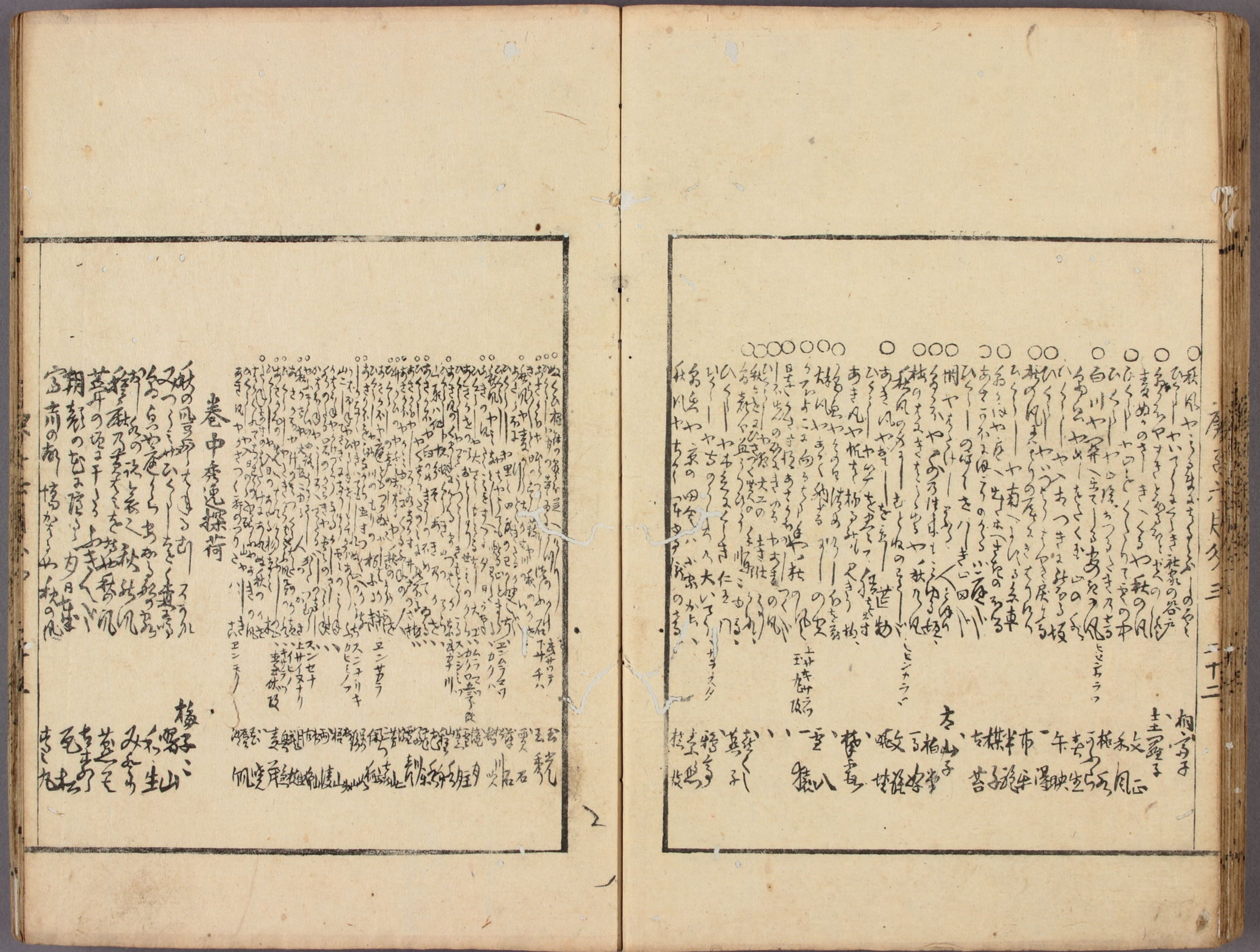
○[illegible]

○秋風ヤ[illegible]

○[illegible]

○秋風ヤ[illegible]

○



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

全六印

朝顔やぬれて色濃の石　モンカラツ　藝舎流芳

秋風や夕日のあたる菊畑のすゝきの日ハ秋の風　松瀑子　重洞子

[illegible]　無春　梅子　友松

[illegible]　中ハシ

昇る日や秋の保[illegible]風　雲鶴居士

[illegible]　吾民　鶴也

[illegible]　晋袁

[illegible]　六山子

[illegible]　梅旭

雪中庵評月並三題句合

庚子七月　催主　浦子園

長三千六百卒余笹

天　地　人

○のりあるくいはみせくいき日くれバ　スンタ中　梅枝

○大あをとうれてきくやーくのこ　下サチハ　雪貢

立きる人の姿ゆまあまあ　スンオキッ　文雅

○ちかくよりの百姓ハ玉ゆ　芝鶴子　面晩

○ちかくよりも上ゆ　東雲　苔雲

○世間門のうち一をひつ　[illegible]　項

ひをこふ人ゆ来合ハ　スンチカサハ　[illegible]

つきくこれ行るのやーくのこ　[illegible]

ひとつ[illegible]るのつらゆ[illegible]

るのアの新ようすき　[illegible]

ちくちくやとちくりる　[illegible]

いちゆのつらくるる　[illegible]

○[illegible]のよの石ゆ甲丁　[illegible]　桜也

ひをうゆ人[illegible]　[illegible]子

栄ハハよくるあり　[illegible]

○[illegible]　[illegible]子　[illegible]

○[illegible]　[illegible]子　古

きのうくこくゆ[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

○ちくちくゆ[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

○ら
○ら
○ら

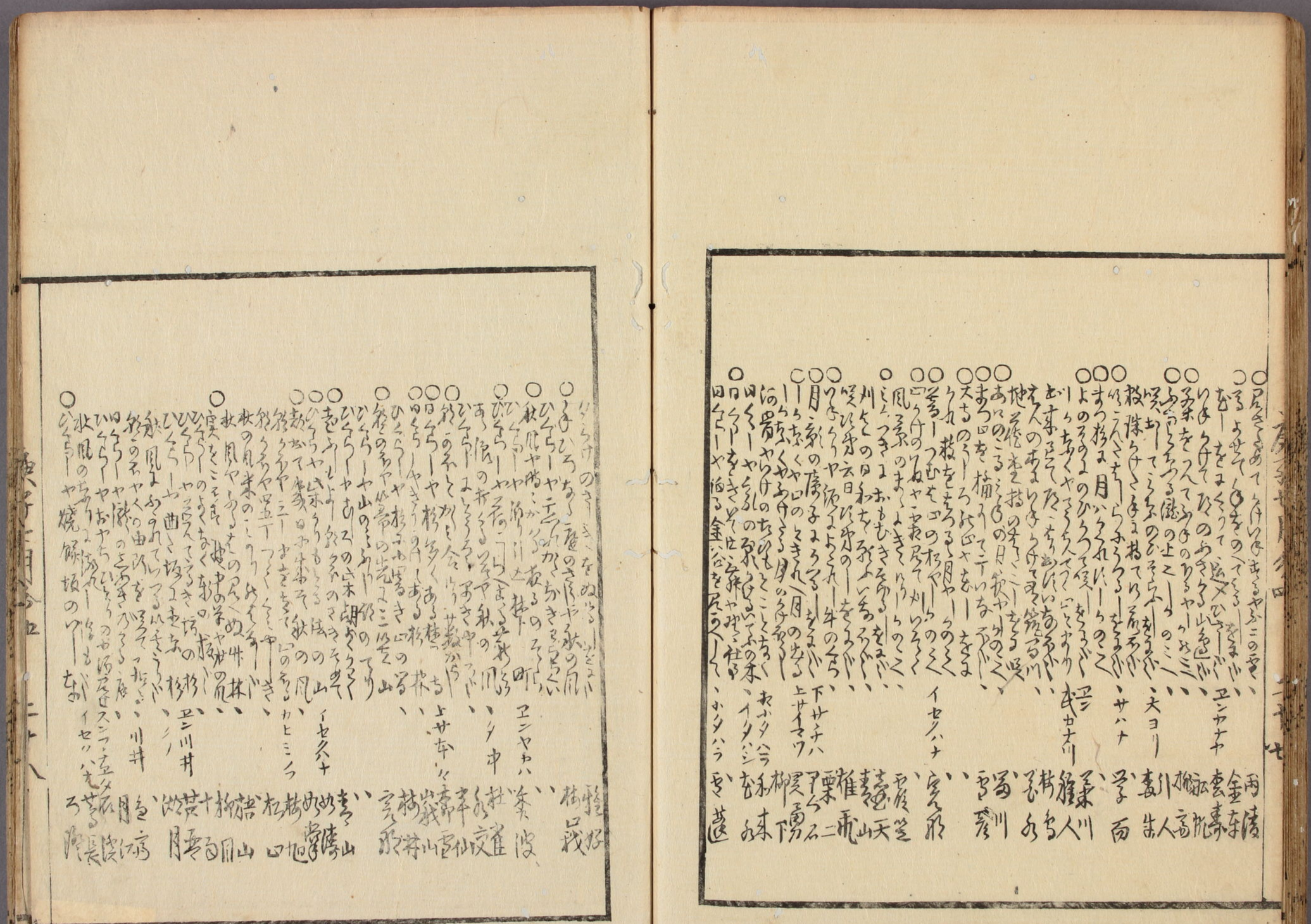
○[illegible]
○[illegible]
○[illegible]

[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

○



雪中菴評

月並三題句合

催主 梁園

天 佐 四四の人を[illegible]

地 佐 四用ちゑ[illegible]

人 仝 四まゐる人の[illegible]

巻中ヒスイノ部

○横[illegible]

○秋[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

○

○石きりの株くもしもちゝ　スンボキツ　敏腦
○竹きりの株くもしもちゝ　ヒンシリ　愚月
○本のくろくもしもちゝ　空丸
○あや材のくろくもしもちゝ
○板中てかくもしもちゝ
○吳山の月洗ひ　ムメカヤ　吉良
○敷屋のいらくさ
○人参は何よきやうやう　子茄
○むくの中のもくもしもちゝ
○苔のもくもしもちゝ
○あの下の川へ流れつくるもの　上サ大タキ　清丸
○のかくせしかくさ　シシ上マリ　沖人
○撞て赤くせしかくさ　下モサノ　林人
○谷川のふる石さ　おヽタハラ　林人
○石角りのうねめのもくもしもちゝ
○秋はぎのもくもしもちゝ　ノフサハ　宗左
○朱の中へ家もあるもの　ヒキモト　宗左
○松風は南てさあるもの　ヒキモト　孤竹
○栗根四ミせ　川ムラキシ　笹
○栗ひろけくるもの　山キタ　多
○きりのくさ
○栗つくれめ　川ムラキシ　孫
○栗二毋の長　スンセキセウ　晋
○おくくくハ川へ流れ　木　純
○栗くろけを矢ちくもの　木　純
○ちまの石見て酔芙蓉　東　松
○こてすくこの　尾　女
○芙蓉の葉　ヒ　女
○くるしまくこの木　ヒ　女
○板ひとつ右へ流れて　ヒ　女
○くるしまくこの木　ヒ　女
○板ひとつ右へ流れて　ヒ　女

○一むくこの木　ヒセンカラウ　秋山
○一尾石の宮へ　秋　河
○ある栗のひさ　秋　河
○やとひ人は栗　秋　河
○流あひより　秋　河
○やーろうち古い下木のもくもしもちゝ
○木の板のうくもしもちゝ　秋　河
○谷ハは木ある　秋　河
○栗二毋のそこ　秋　河
○むくの中の長　秋　河
○くるきを見て　秋　河
○雨あの赤くろ　秋　河
○大きはつくる　秋　河
○のくはあるもの　秋　河
○むくの中の長　秋　河
○つくるもの　秋　河
○武さう手　茅　左
○そくるくるもの　秋　河
○板ひは入　秋　河
○川あれの地めんのひろきもくもしもちゝ　スンナカサ　柳月
○きを見て　秋　河　逸頂
○多くはて　秋　河　柳月
○山木との長　秋　河　柳月
○ふ二尾の山　秋　河　柳月
○板のしや手　秋　河　柳月
○山まのそこ　秋　河　柳月
○宗旦のそこ　秋　河　柳月
○秋きの長　秋　河　柳月
○くの土の次　秋　河　柳月
○そくるくるもの　秋　河　柳月
○くるくるを見て　秋　河　柳月
○くるくるを見て　秋　河　柳月
○くるくるを見て　秋　河　柳月

板枝め　蓋一金
栗　秋
三子秋
秋山
角衣
頭友
夏素
芙蓉
武月
子
茅左
柳月
逸頂
柳月
六
川
柳月
一
一
六
声
柳月
子
八
人
エンヨウスカ
宮
金莫

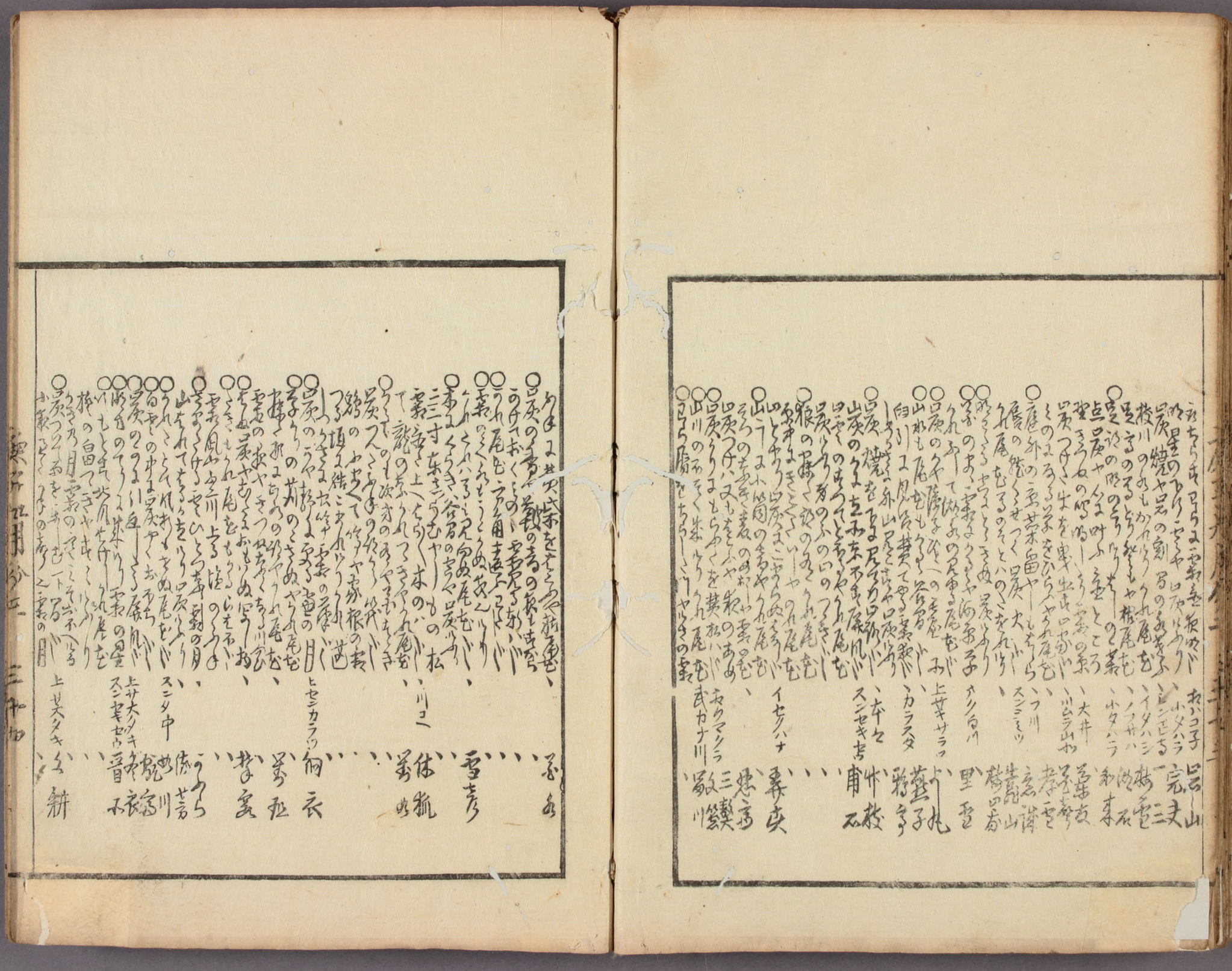
○はあけの日ら〳〵　夏〳〵　野原
○おくのこと　秋
○ふるつて　番
○ふるつて　直
○ふるつて　直
○ふるつて　直

数多き家のふる屋より　たをさい　フノ口井　ヤハ　要

逸探荷

海を見て　ヒセンカマツ　千州　榮
ながめよりる中仙人の木の　ヒセンカマツ　ちとせ　三
ながめよりる　毎日見る　しんぶ　スミフ　楊　舟
ながめ　ながめ　男　女　せのもとちい
榮　みい　男　ひさ　南　木の
榮の見　ひ　ふ　ふ
元の木の　ふ　ふ
水　神　ふ　ふ　ふ

○中の瀬へ　六川
○おこうせ　登山
○たちつしもや　神山
○雲へ雲そ　綿山
○雲へすそ　向峠
○雲へすそ　山
雨やそつ　ひろ
○雲の山や　ひろ
○雲山や　ひろ
元の瀬よ　上毛イ
○雲の瀬よ　上毛イ
○雲の瀬よ　上毛イ
○雲



○雅生　○生ずる　○ゆ　○ゆ　○ゆ

雪中庵評月並三題句合

庚子十月分句員二千余章

天位　地順　人位

催主　梁園改

坐石　木山　空心

武州　休狐

水　迷子　桃子

対城子　北亭　アハ山ヤウ

対　如水　田午　舟雅映

杜　蓼舎　芳

車曲

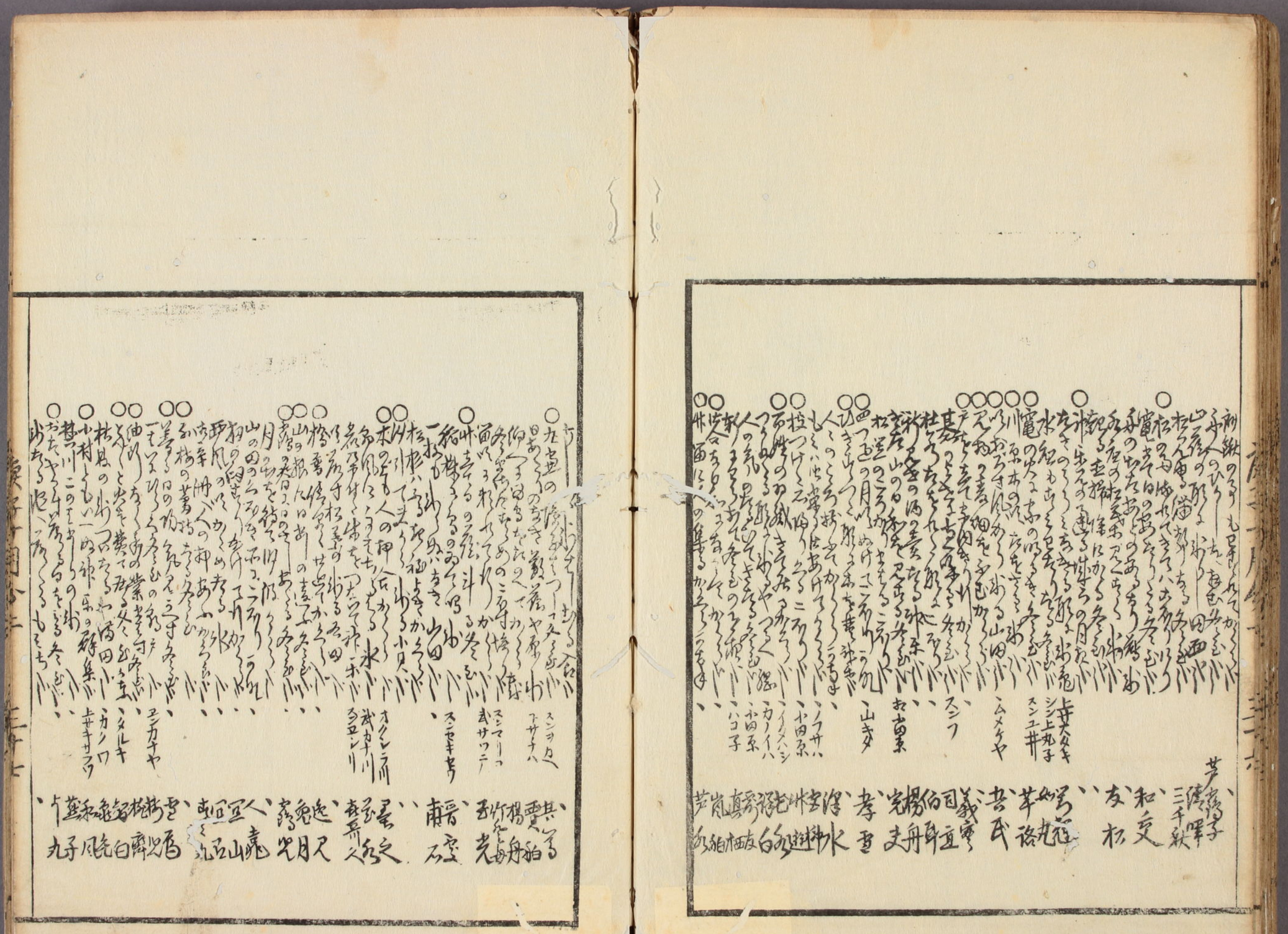
抱てなうるるさ
月さむ尾むい

吉鶴

イセサキ　吉吉　カヒミノ　庸

エンヨウスカ　金英　武丈　桃月

新下　蓼星　雅星



一　志賀丸　雅水
陸奥　放鳥
特長　雅水
稚人　雅水
大ノ木　イノ
稚長　空心
ユシヨコスカ　上廿大ノキ
カヒミラ　久流反
上廿大ノキ　イセノロ子
ユシカ井　月白
菓子　丸山　旭　一旭　西良　西良　交　完邦　完邦　完吉
桐　松　子　堂　行

一　貴　丸　友　芝　友　芝　友　芝

雪中菴評月並三題句合

庚子十一月分句員二十六人余章

天　順徳
地　順徳
人　順徳

催主　梁圓

坐石　尾松　翠齋　義宣

巻中ヒスイノ部

○ 梅　ユニハル多
○ 梅　カヒミノフ
○ 梅　スミカキ
○ 梅　イハラタ
○ 梅　おハコ子
○ 梅　ヘンセキセウ
○ 梅　つゝエンレリ
○ 梅　ヒヤウ
○ 梅　ヒヤウ
○ 梅　ヒヤウ

○村のこの梅や梅やみてもみる　光信

○梅やこの梅の下ちる花の雪　長信

○梅やこの梅の下ちる花の雪

○梅（中略）
○村雨の梅　エンカナヤ
○梅村の梅　エンシンジウ
○西山の梅　エンサイノウ
○天井の梅
○水交
○月人
○山
○蓮月
○蓮月
○梅児
○梅村
○梅月人
○梅月人

秀逸探題

○梅　エンハヤウ
○梅　エンヨウ
○梅　エンヨウ
○梅　エンヨ

[illegible]

宗英

雪中菴評月並納會句合

天 地 人
位

庚子十二月分句撰千金章

四方のそとはそとはしらぬめこゝろ　スンキセウ　甫石

タンカオクリミフリ

ふるさとのかゝるこゝろの梅ぶ　三千秋

四月ちかくかゝるこゝろの梅ぶ　柳橋女

四月のそとてあるきしかたの梅ぶ　スンメナカ

四月ちかくかゝるこゝろの梅ぶ　スンフ

タンカオクリミフリ

巻中ヒスイノ

○梅ぶ　ヨシナルメキ　菊里

○ちきのかゝるこゝろの梅ぶ　スンセキセウ　芦水

人のこゝろの梅ぶ　おハコヲ　雪隙

○ちきのかゝるこゝろの梅ぶ　スンキキ　雪隙

○梅ぶ　スンフ　吾風

○梅ぶ　完文

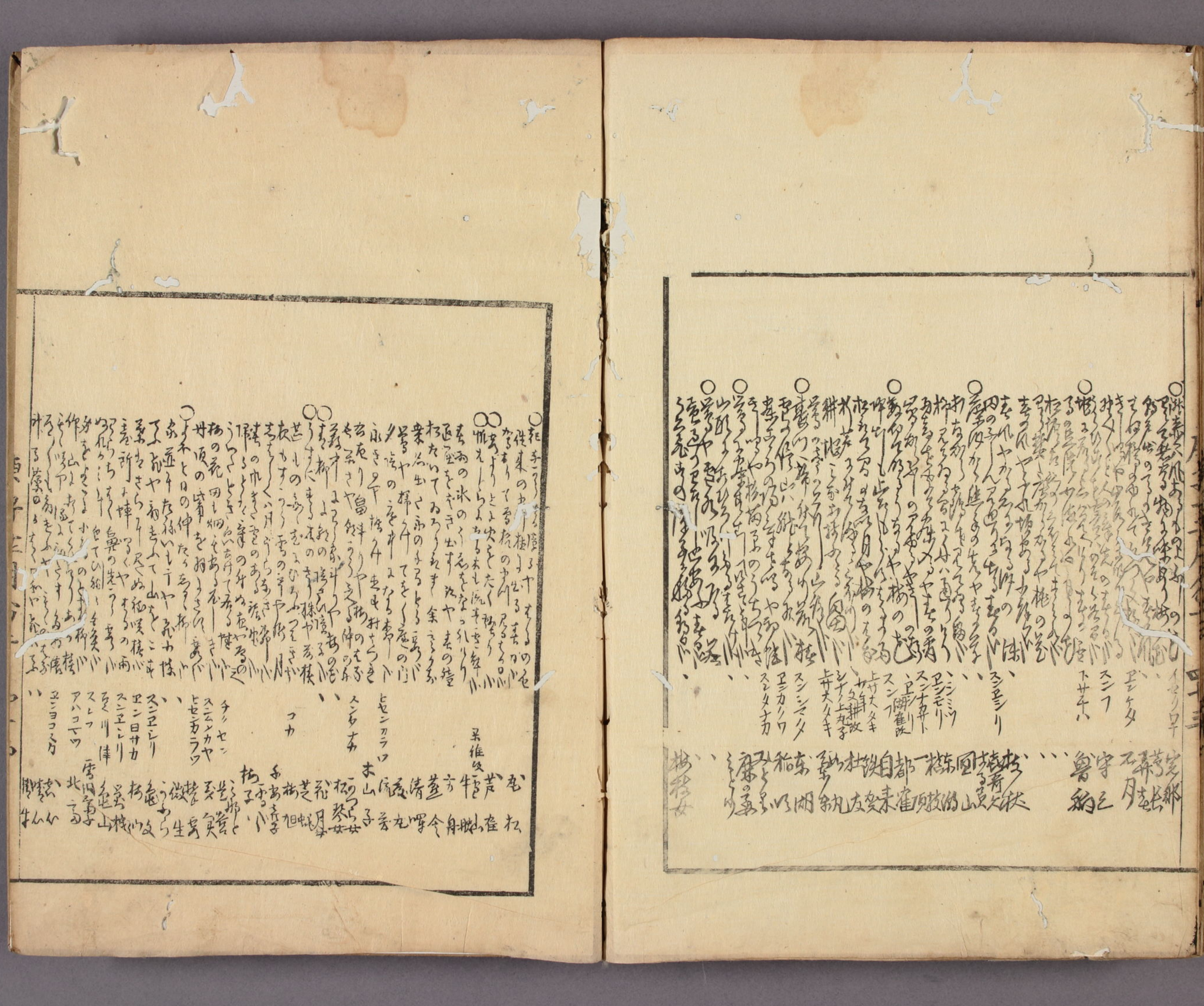
○梅ぶ　一人

○梅ぶ　三人

○梅ぶ　武カナリ　芝九

○梅ぶ　スンシウ　芝吾

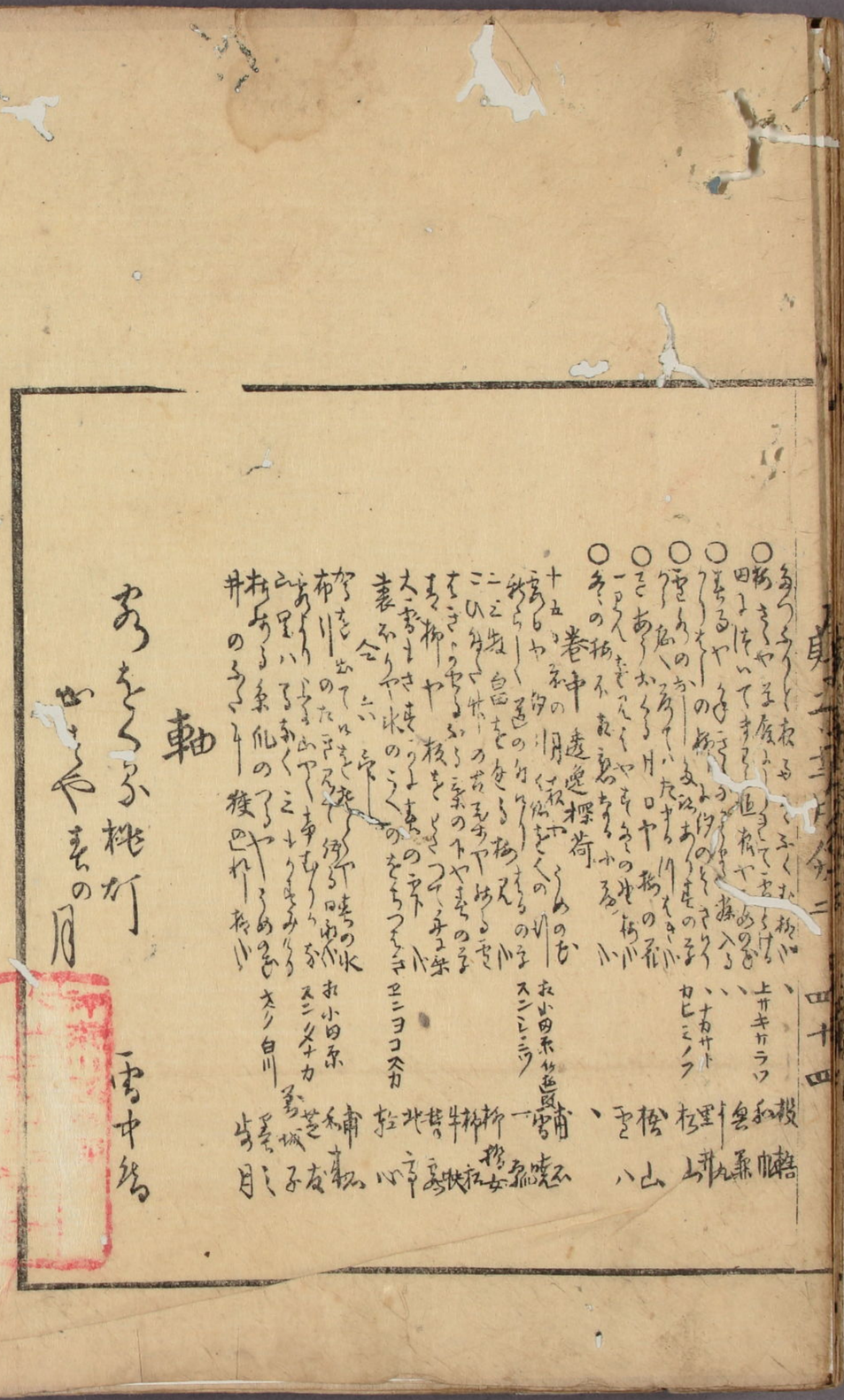
○梅ぶ　ムメヤ　武吾



天保十一庚子年

求之

雪曉



昭和二十四年五月末